

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌



未来 4月号
2024.4
vol.64 No.688

未来

編集責任者

事務局長

池田 慎太郎

一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町 41 番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail:info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2024年度 スローガン：絆をつむぐ ～眠れる同志を呼び起こせ～



能登半島地震義援・支援金 街頭募金活動



2月例会



もりもり文化祭



3月例会



4月例会

京都会議



24 To For 委員会
委員長
今井 健太

私は入会2年目、理事者になって2年

目で初めて京都会議に出席しました。多くの先輩方から京都会議の雰囲気は絶対に味わたった方が良いと聞かされていきました。京都にJ.Cと言われる人たちが全国から集まるというざっくりとしたイメージのまま新幹線で京都へと向かいました。京都に降り立つとすぐあちらこちらでJ.Cバッジをつけた人を見かけました。前日にわんぱく相撲のオリエンテーションで会場入りしましたが正直それだけでも多くの人でびっくりしました。当日の会場は想像を遥かに超えるJ.C会員が集まっており驚かされることばかりでした。その中でも一番印象深かったのが、会場が一体になっての



フォームです。その景色を見て私は鳥肌が立ちました。多くの同志たちが集まって全員で執り行うフォームは庄巻の一言でした。小西回頭の演説の中の『圧倒的当事者意識』という言葉も当委員会の委員会方針に似ており共感した部分であります。良い1年間の始まりと感じました。是非毎年行きたいと感じました。

2024年度
長野ブロック協議会全体会議



FIRST STEP委員会
委員長
藤本 直樹

去る1月27日小諸

市民交流センターにて2024年度北陸信越地区長野ブロック協議会全体会議が開催されました。プログラムでは本年度長野ブロック会長をはじめとする長野ブロック役員から事業方針の発表があり、県内17

会員会議所の理事長からは各会員会議所のスローガンの発表が行われました。この各スローガンはその地域独



自の特色や課題が内包されており、発表の流れの中では各理事長はもとより、そのメンバーから程良い緊張感や楽しさが伝わってくる有意義な内容でした。

併せて実施された災害協定の調印式では、県内各地にある青年会議所が、有事の際に協力し合うための協定を結びました。ここでは県内会員会議所の一体感を肌で感じる事が出来き、青年会議所の力強いネットワークや存在意義を改めて認識する良い機会となりました。全体を通して県内の様々な青年会議所メンバーと交流でき、垣根を越えた情報や学びを得ることのできた貴重な時間となりました。

この青年会議所ならではの大きな繋がりを大切に、今後でもできる限りブロック活動に参加したいと思えます。



OB総会



WAKE UP室
副理事長
本田 貴久

2月9日に、今宮半平様にてOB総会

が開催されました。長い間続いたコロナ禍もようやく収束し、多くの先輩方とお会いすることができました。先輩方からの貴重なご意見やアドバイスを伺うことができ、これからの活動に新たな視点やモチベーションをいただきました。

また、先輩方の過去のJ.C活動のエピソードや実施した事業についての話を伺い、私たち現役メンバーもさらなる励みを得ました。この総会を通じて、OBと現役メンバーとの絆が深まり、飯田青年会議所の未来に向けてさらなる活



動を展開していく覚悟を新たにしました。



能登半島地震義援・支援金街頭募金活動



FIRST STEP委員会
副委員長
松尾明則

今年1月1日に発

生した能登半島地震への義援金街頭募金活動を、1月から3月にかけて合計9回実施しました。飯田青年会議所として今被災者に対して、微力ですができる事をしたとの想いをご理解頂き、快く募金活動の場所を提供して下さった下伊那地域の各店舗の皆様本当にありがとうございました。
募金活動の際には、多くの方に募金して頂き、「お疲れ様」や「頑張ってください」などお声がけがままでして下さり、人の温かさに触れることが出来、とてもやりがいのある活動となりました。集まった義援

金は飯田市を通じて被災地へと届けられます。被災者の日常が早く取り戻せるように願います。



2月例会



個性昇華委員会
副委員長
山口大貴

2月例会では、飯田青年会議所の65周

年に向けての取り組みに加えて、過去の功績や歴史を振り返る機会も設けられました。メンバー同士が絆を深め、先輩たちの経験や教訓から学ぶことができる貴重な場となりました



た。これまでの成果に感謝しつつ、65周年を迎える節目に向けて更なる成長と発展を目指す意欲が高まりました。グループワークでは各委員会より活発な意見が多数発表され充実したものとなり最後に参加者全員で円陣を組み絆を深めることのできた例会となりました。



3月例会



個性昇華委員会
委員長
佐々木大地

去る、3月4日(月)に3月例会が開催されました。

テーマは「J.Cの強みを活かせる人財になろう」とし個性昇華委員会初の例会となりました。まずは、委今まで行ってきた飯田青年会議所の活動や他のLOMの魅力的な活動の紹介を行い私達がまだ知らなかった活動や他LOMの地域に対しての様々な魅力的な事業を知ることが出来、私達が所属する飯田J.Cの価値を再確認できました。次に、歴代理事長の熊谷弘先輩を講師に迎え基調講演していただきJ.C活動や長野ブロック協議会の活動に対しての熱い想い、今現在

でも続いている当時の委員会メンバーの交流など人との繋がりの大切さや想いを理解する事ができました。パネルディスカッションでは中根正佳先輩、熊谷弘先輩、細川大輔先輩を迎え現役当時のJ.C活動の熱い想いや、今でも続いている仲間などの絆、活動の裏話など、普段では中々聞けない貴重なお話を聞くことが出来、J.Cの強みの一つである人との繋がりの大切さへの理解がより深まった大変すばらしい例会であったと思えました。



もりもり文化祭



個性算委員会
副委員長
中村 充花

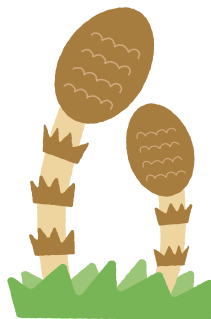
3月23、24日にか
ざこし子どもの森公

園にて4年振りの通常開催となる国際交流推進協会主催のもりもり文化祭が開催されました。24日の中で、飯田JCブースでは藤本委員長の元、飯田焼肉の文化に知ってもらう為、焼肉の無料配布と餅つきの手伝いを担当しました。



焼肉ブースでは食べてもらうだけでなく、食べ終わった容器を返却する際「あなたの好きなお肉の種類は？」と、竹串は「飯田焼肉ってなに？」と聞かれて説明できるかを、箱に刺してもらう形式でアンケートを実施しながら皆は喜んで楽しんでもらいました。

大勢の方がつきたてのお餅や焼きたての焼肉を食べ、参加者の笑顔が見ることができ参加した私達もとても充実感を感じ、今後このようなイベント等が増えていってもらえれば良いと思いました。



4月例会



24T.O.F.O.R.委員会
副委員長
曲淵 裕記

我々、24T.O.

For委員会では

「自分のためがだれかのために。誰かのためが自分のために。」の考えのもと一年間活動していきます。「T.O.m.eを深掘りしよう」というテーマで例会を行いました。未来の子供たちのために南信州にプロラグビーチームをつくる活動をし

ている矢澤遼さんを講師にお招きし、自分が目的のためにどのようにして動いているか、どのような考えで動いているかをお話ししていただきました。まさに我々の定義する「T.O.m.eの精神」と同じであり、今後の活動だけでなく人生にとっても役立つ講演だったと思います。

そして、後半では飯田JCの継続事業の一つでもあり、時代の変化もあり年々参加人数が減ってきている飯伊わんぱく相撲に焦点をあて、どう盛り上げていけるのかを現役で競技をしている松尾相撲クラブの子供たちも交えて議論を行いました。この例会を通じ飯伊わんぱく相撲への関心を高めることができたと思います。



新会員抱負



新会員
森山 万里

二月より飯田青年
会議所に入会させて

いただきました森山万里と申します。有限会社森山の役員を務めさせていただいております。縁起物の熊手を主に卸売業をさせていただいております。

昨年、働く車のイベントにボランティアとして参加させていただいたのが、飯田青年会議所を知ったきっかけです。南信州のために活動する飯田青年会議所の方々を拝見し、私も皆様と活動したいと思ひ入会を決意しました。人生経験も浅く未熟者ではありますが、この機会に自分を見つめ直し成長していきたいと強く考えております。南信州をより一層盛り上げて行くべく微力ながら精進して参りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

